

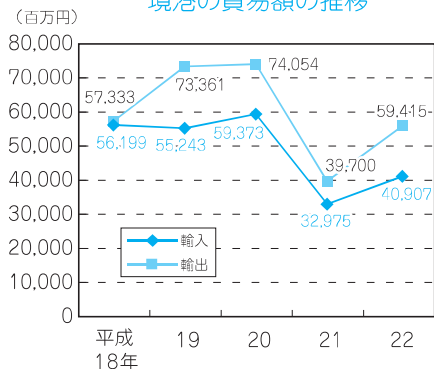
(貿易)

平成18年から平成22年までの貿易統計による境港の貿易額の推移を見ると、平成21年に輸出、輸入とも大幅に減少しましたが、22年には増加となりました。

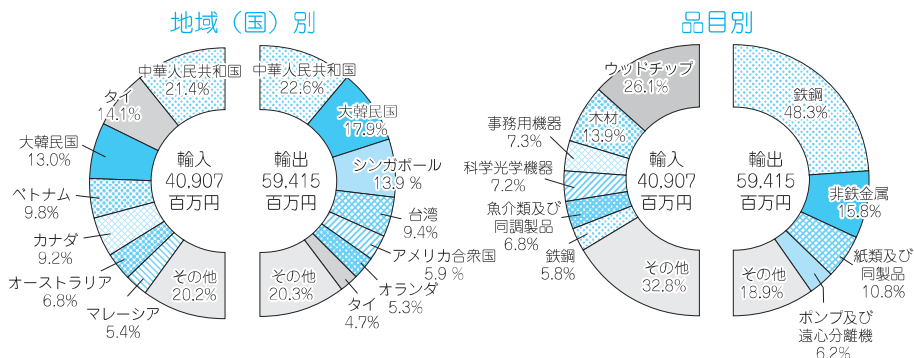
平成22年の地域(国)別貿易額の割合を見ると、輸入、輸出とも「中華人民共和国」の占める割合が最も高くなっています。

また、品目別貿易額の割合を見ると、輸入では「ウッドチップ」の占める割合が最も高く、次いで「木材」「事務用機器」となっています。一方、輸出では「鉄鋼」の占める割合が最も高く、次いで「非鉄金属」「紙類及び同製品」となっています。

境港の貿易額の推移



境港の主要地域(国)別、品目別貿易額の割合 (平成22年)



境港の貿易額

単位：百万円

項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
輸出額	57,333	73,361	74,054	39,700	59,415
うちアジア NIEs	28,841	36,155	34,457	20,629	25,525
うち ASEAN	10,407	14,597	12,171	6,868	13,454
輸入額	56,199	55,243	59,373	32,975	40,907
うちアジア NIEs	5,414	3,895	6,620	3,634	5,535
うち ASEAN	6,844	9,285	11,181	9,359	13,922
輸出入総額	113,532	128,604	133,427	72,676	100,322
外国貿易船入港隻数	772 隻	582 隻	497 隻	433 隻	531 隻

資料 神戸税関「貿易統計」

アジア NIEs… 大韓民国、台湾、香港、シンガポール

ASEAN… タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア